

出張目的	川東浄化センター太陽光発電装置設置事業に係る状況把握			
出張先	川東浄化センター			
出張経過	出発地・日時	市庁舎 11月11日 午前11時05分	到着地・日時	川東浄化センター 11月11日 午前11時15分
	帰着日時	11月11日 午前11時50分	滞在日数	
	経路及び利用交通機関	市庁舎 川東浄化センター 市庁舎 公用車		
用務経過	川東浄化センター太陽光発電装置設置事業に係る工事完成により、現地視察を行いました。			
	参加者：産業建設常任委員会			
	福井委員長、菱田副委員長、井上委員、馬場委員、小島委員、齊藤委員、日高委員、			
	湊委員、事務局随員 三宅			
	計 9人			
その他	別紙のとおり			
添付書類	説明資料等（添付のとおり）			
備考	1．その他欄には、意見、感想等を記載すること（必要に応じ適宜、別紙の添付も可）。 2．送付書類は項目別に記載の上、本復命書に綴込み提出のこと。 但し、事務処理上差支えがあれば提示するにとどめてよい。			

視 察 概 要

平成25年11月11日(月曜日)午前11時5分～午前11時50分

川東浄化センター太陽光発電設備の現地視察

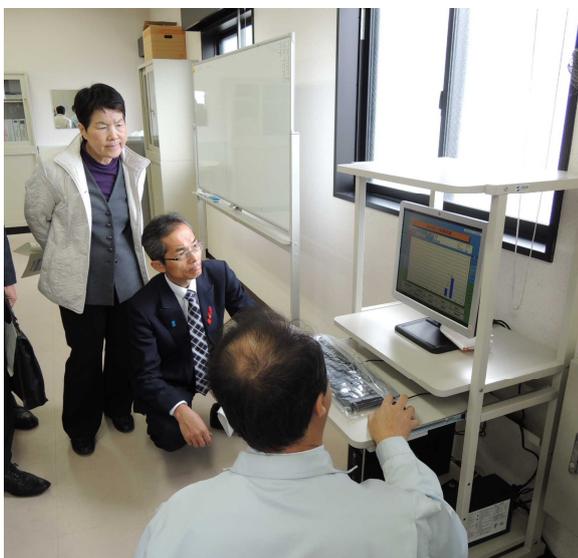
説明員

西崎上下水道部長、中井下水道課長、阿久根下水道課副課長、鈴木下水道課建設係長

[下水道課長及び下水道課副課長、資料に基づき説明]



[施設見学を通じて、各委員より随時質疑]



計測監視装置



太陽光発電表示装置



太陽光パネル

産業建設常任委員会

川東浄化センター
太陽光発電装置完成

上下水道部下水道課
平成25年11月11日



川東浄化センター 太陽光発電装置設置事業

敷地面積 6,887㎡
処理能力 1,645㎡/日
処理人口 6,090人

処理方式 オキシデーションディッチ方式 (ODH型2系列)



亀岡市の自然エネルギーへの 取組み及び事業目的

〔亀岡市の自然エネルギーへの取組み〕

平成23年3月11日に発生した東日本大震災による原子力発電所の事故に端を発し、全国各地で安全で安心なエネルギーへの関心が高まっています。

そうした中、本市においては、「亀岡市自然エネルギーに関する検討会議」を設置し、これまでの取組みや社会情勢の変化を踏まえ、原子力や石油等化石燃料からの転換、地域の特性を生かした自然エネルギーの活用や省エネルギー対策について調査・研究を進め、「自然エネルギーの地産地消に向けた提言」を平成24年3月に発表してきました。

そして、川東浄化センターに太陽光発電施設を設置することを平成23年度末に方針決定し、平成24年度から事業着手しました。

〔事業目的〕

太陽光発電施設を設置し、汚水処理施設の電源として使用することで地域における二酸化炭素排出量の削減を行い、亀岡市における環境マネジメントマニュアルにおける温室効果ガス削減目標を達成するものであります。(2018年度までに1990年度比10%減とする。)

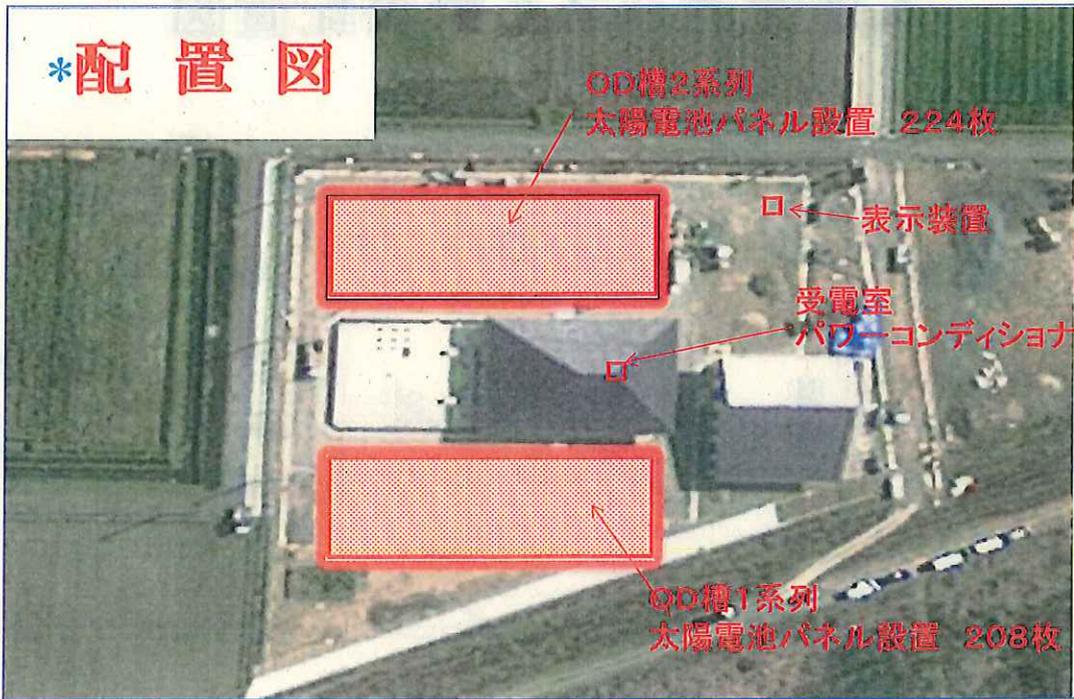
事業概要

- ▶ 事業年度 平成24~25年度
H24:基本設計及び詳細設計を実施
H25:川東浄化センターソーラーパネル等設置工事として工事発注
(工期 平成25年5月16日から平成25年9月28日)
- ▶ 事業費 66,355,800円 (内補助 63,289,800)
- ▶ 補助事業名 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金
(補助率 50%)
- ▶ 設置場所 川東浄化センター(河原林町勝林島)
- ▶ 太陽電池出力 約 90kw

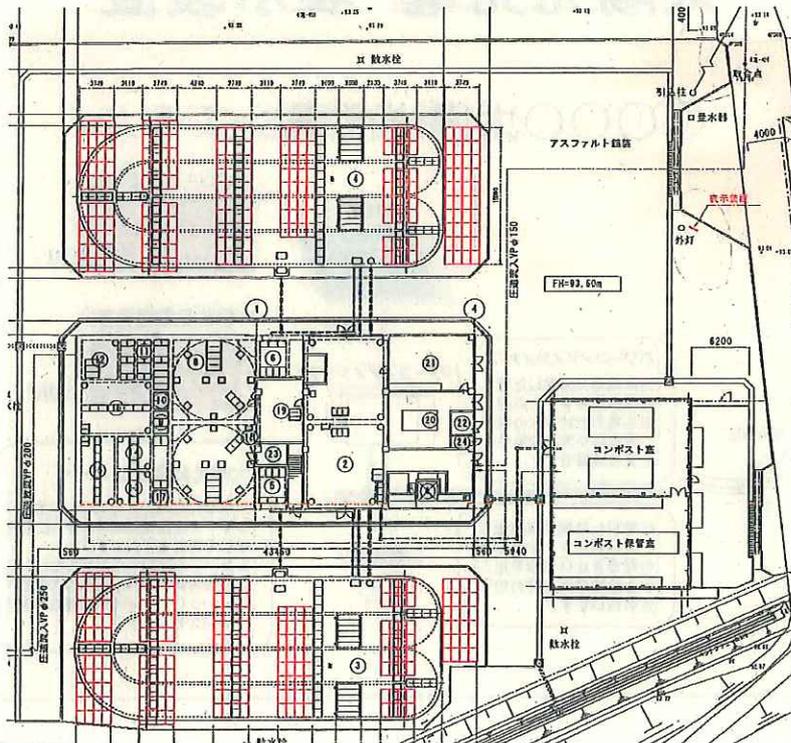
工事概要

- ▶ 太陽電池パネル 432枚・・・1枚当り 215w
種類:多結晶シリコン太陽電池 (防汚タイプ)
- ▶ パワーコンディショナー 1台 容量:100kw
(太陽電池で発電された直流の電気を交流に変換して処理場内の電気系統に接続するもの)
- ▶ 計測監視装置 1式
(日射量や発電量をコンピューターで観測するもの)
- ▶ 表示装置 1台
(屋外に発電量を表示するもの)

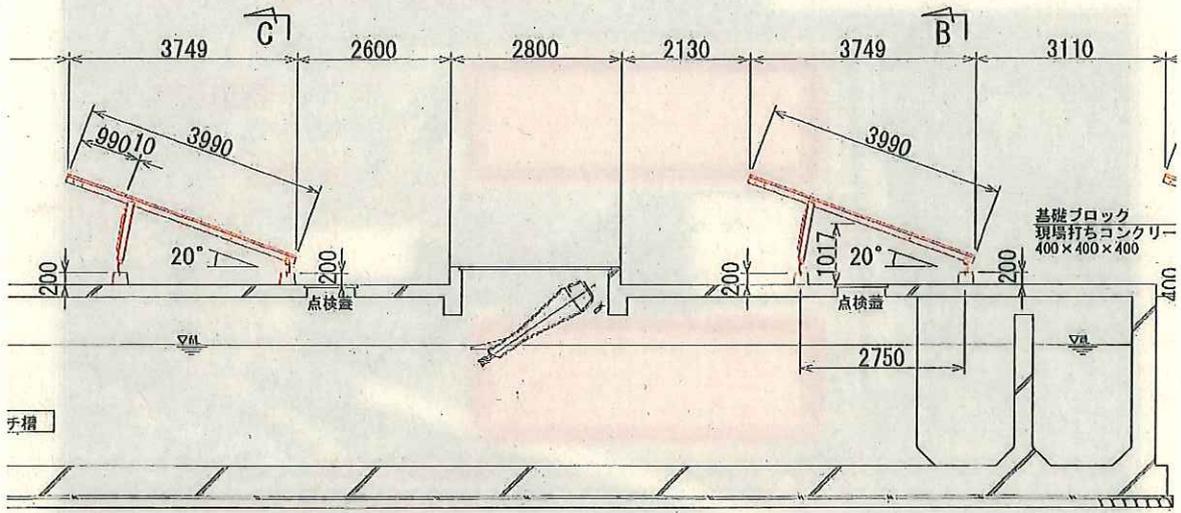
*配置図



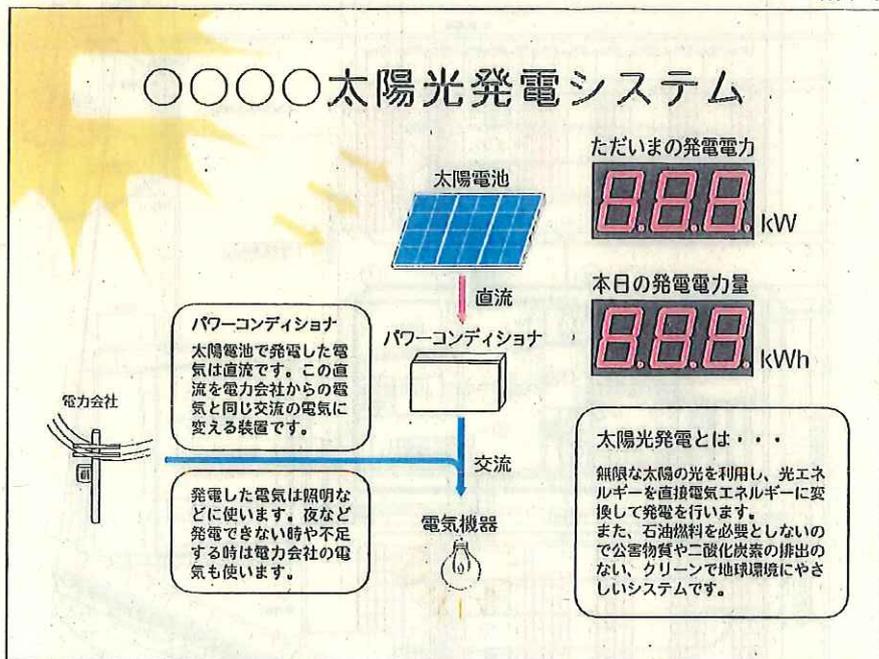
配置図



太陽電池パネル断面配置図

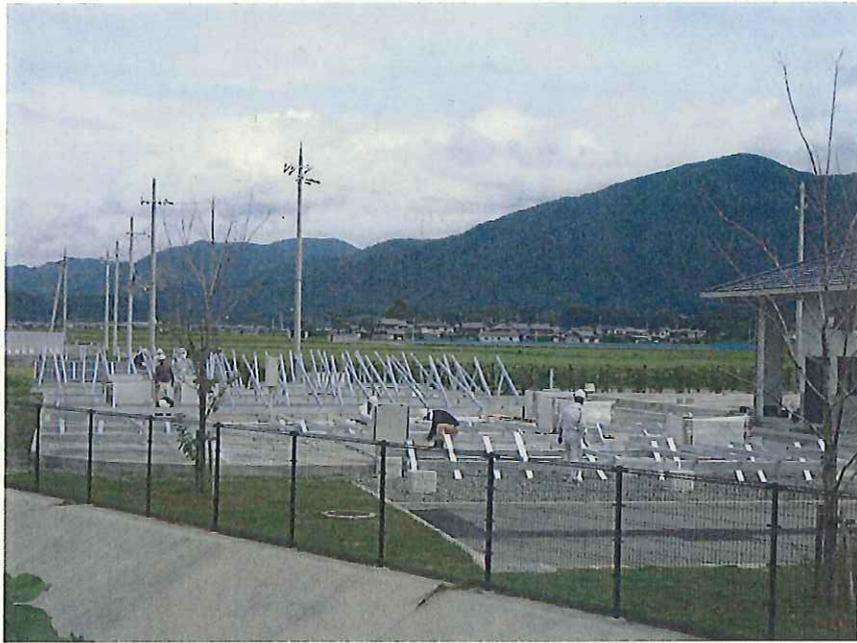


太陽光発電 表示装置



工事状況(9月3日現在)

架台レール設置



工事状況(9月3日現在)

太陽光パネル一部設置

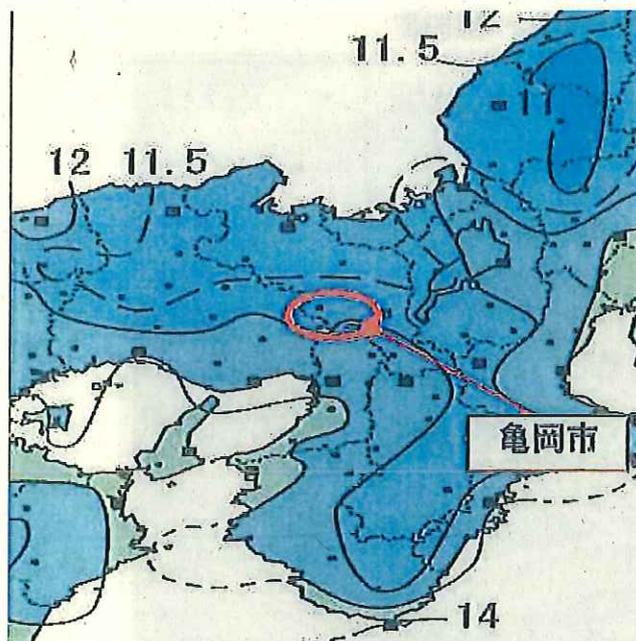


工事状況(9月5日現在)

太陽光パネル設置完了



年間日照時間(参考)



各市	日照時間
舞鶴市	1,525h
京都市	1,789h
亀岡市	1,853h
大阪市	2,001h
和歌山市	2,088h

近畿圏で中程度

1. 電気料金節減効果

▶ 太陽光発電電力を施設内で利用

◎川東浄化センター電気料金

※H24実績より

	電気量(kwh)	電気代(千円/年)
導入前	474, 406	約7, 000
導入後	387, 185	約5, 700
効果	-87, 221	約-1, 300

約20%の電気代低減

2. 環境学習(コミュニティー活動促進効果)

太陽光の恵みを
子どもたちが学び育むために



太陽光発電は、地球温暖化の原因と言われている温室効果ガスCO2を排出しない再生エネルギーとして、大きく貢献します。また、川東浄化センターの施設見学などにおいて再生可能エネルギーである「太陽光発電施設の仕組みや発電した電気の活用を、学校教育の一環として学び育んでもらうことにより、環境に対する意識の高揚を図ることができる。

